

平成25年度ブラインド試験結果の総評

公益財団法人 放射線計測協会

平成25年度のブラインド試験^{注)}も例年通り、参加各機関(4社)の線量計について、X線、 γ 線、中性子、 β 線のエネルギーや線量率を変えて、全84件の試験を行いました。その結果、各機関が測定・評価した線量は、照射した線量に対する比率で与えると、84件すべてが $\pm 20\%$ の範囲内に入りました。これらの結果は、各機関がより一層の品質向上に努められている成果であり、高く評価できます。

このうち、照射した線量に対して $\pm 10\%$ を超えたのは、 γ 線については試験した28件中1件(-12%)、中性子では20件中3件($-11\% \sim +13\%$)でした。

また、 β 線については試験した12件すべてが $\pm 10\%$ の範囲内となり、昨年度までの照射した線量に対して低めに評価されるという傾向が改善されました。これにつきましては、当協会が照射に用いる β 線源を最新の国際規格に対応した線源に変更したことがひとつの要因と考えられます。

注) ブラインド試験は、照射した線量を知らせずに(目隠しして)個人線量計を参加機関に返却し、個人線量計に照射された線量を独自に測定してもらうという手法です。